

# 課題研究（1年） 模擬課題研究・ミニ課題研究 評価の観点

令和6年度実施

## 1 模擬課題研究（口頭発表）

### (1) 知識・技能

	観点1	観点2
3	見やすく、分かりやすいスライドを作成している。	聞き手を意識した発表をしている。
2	見やすく、分かりやすいスライドを作成しようとしている。	聞き手を意識した発表をしようとしている。
1	見やすく、分かりやすいスライドが作成できていない。	聞き手を意識した発表ができていない。

### (2) 思考・判断・表現

	観点1	観点2
3	図（グラフ・写真など）や表を効果的にスライドに取り入れている。	課題研究の流れ（全体）を意識し、発表を進めている。
2	図（グラフ・写真など）や表をスライドに取り入れようとしている。	課題研究の流れを部分的に意識し、発表を進めている。
1	図（グラフ・写真など）や表をスライドに取り入れている。	課題研究としての発表ができていない。

### (3) 主体的に学習に取り組む態度

	観点1	観点2
3	班内で協力して発表できている。	効果的な発表になるよう工夫するなど発表内容を十分に理解した上で、発表に臨んでいる。
2	班内で協力して発表しようとしている。	指示棒を利用するなど発表内容をある程度理解して、発表に臨んでいる。
1	班内で協力して、発表しようとしていない。	原稿をただ読むだけなど発表内容をあまり理解せずに、発表に臨んでいる。

## 2 模擬課題研究（ポスター発表）

### (1) 知識・技能

	観点1	観点2
5	発表資料を分かりやすくまとめ、相手に合わせて発表できている。	研究背景、仮説などを示し、発表内容を分かりやすくしようとしている。
4	発表資料を分かりやすくまとめ、資料に基づいて発表できている。	研究背景、仮説などを示して発表できているが結論につながっていない。
3	発表資料をまとめ、資料に基づいて発表できている。	研究背景、仮説などを示して発表できている。
2	発表資料をまとめられている。	研究をする理由（研究背景、仮説）を示しているが曖昧である。
1	発表資料としてまとめられていない。	研究をする理由（研究背景、仮説）を示していない。

### (2) 思考・判断・表現

	観点1	観点2
5	数学的、科学的な根拠をもとに探究の過程を整理して論理を展開している。	考察から仮説を新たに立てるだけではなく、研究課題を深めるためにどのような根拠が必要なのかを考えている。
4	数学的、科学的な根拠をもとに探究の過程を意識しながら発表している。	考察から仮説を新たに立てており、研究課題を深めようとしている。
3	実験結果など客観的な根拠を扱って発表している。	考察から仮説を新たに立てているが、研究課題を深めることとはやや関係がない。
2	主観的な根拠のみを扱って発表している。	自身の研究課題を捉えきれておらず、考察が不十分である。
1	根拠をもとに発表できていない。	やったことの発表だけになるなど、研究としての発表ではない。

### (3) 主体的に学習に取り組む態度

	観点1	観点2
5	（個人研究ではできない）グループ研究の良さを十分に生かして成果を発表している。	質疑においても準備・練習などの成果を十分に発揮した発表である。
4	グループ研究の良さを生かそうとして、成果を発表している。	発表までの準備・グループ練習などの成果を十分に発揮した発表である。
3	成果の発表において、グループ内で自分の役割を果たそうとしている。	発表までの準備・グループ練習などの成果が感じられる発表である。
2	グループ内で役割を決めて、成果を発表している。	発表までの準備・グループ練習を感じる事ができない発表である。
1	個人に役割が偏るなど、グループ研究を意識した発表になっていない。	発表までの準備・個人練習を感じる事ができない発表である。